

科目名	日本語表現法		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 前期	単位数	2
担当教員	宮岡 良成		
内容および計画	<p>私たちはふだん日本語を無意識に使っています。ところが自分が意図したとおりに相手に伝わるとは限りません。なぜそのようなことが起こるのでしょうか。この授業ではその日本語をとりあげて前半45分と後半45分に分けて展開します。前半45分は「日本語」をテーマとして講義形式で展開します。日本語の特質や働きをさまざまな角度から学びます。さらに日本語はジェンダーと深く結びついていることも学びます。後半45分は600字程度の文章を書く練習をします。社会問題を中心にさまざまなテーマを取り上げます。そのテーマにしたがって自分の意見を正確にかつわかりやすく相手に伝えるように論理的に表現できる能力を身につけていきます。</p>		
1	講座のくわしい説明をします。さらに言葉の不思議さ・論理的思考・文書表現の基本について学びます。		
2	「言語」に関する考察と第一回目の文章作成練習。		
3	「ロゴス」に関する考察と第二回目の文章作成練習。		
4	「言語の習得」に関する考察と第三回目の文章作成練習。		
5	「国家と言語」に関する考察と第四回目の文章作成練習。		
6	「民族と言語」に関する考察と第五回目の文章作成練習。		
7	「文字」に関する考察と第六回目の文章作成練習。		
8	「日本語の発音」に関する考察と第七回目の文章作成練習。		
9	「方言」に関する考察と第八回目の文章作成練習。		
10	「差別語」に関する考察と第九回目の文章作成練習。		
11	「差別語」に関する考察と第十回目の文章作成練習。		
12	「ジェンダー」に関する考察と第十一回目の文章作成練習。		
13	「ジェンダー」に関する考察と第十二回目の文章作成練習。		
14	「類義語・オノマトペ」に関する考察と第十三回目の文章作成練習。		
15	「文化と日本語」に関する考察と第十四回目の文章練習。		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
			ISBN
			発行年
教科書は使用しません。			
参考書			
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	毎週提出する課題の取り組み。	90	
	定期試験	10	
課題に対する評価については第一回目の講義の時に説明します。			
学習到達目標	日本語の特質をさまざまな角度から指摘できる。自分が伝えたいことを文章で正確かつ論理的に表現できる		

	ようになる。そして社会に出てからもいろいろなことをよく考えるようになる。この3点が到達目標です。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：古典のできない高校教諭として30年現代文と小論文を指導してきました。また高校検定教科書の編集委員を引き受けて25年以上続けています。評論と小論文を担当しており、社会・環境・政治・国際・ジェンダーなど幅広く評論文を研究し教材の発掘に努めてきました。その他類語辞典や国語辞典の編集も携わってきました。この経験をもとに日本語と文章作成だけでなく社会問題等についても教授します。
その他	文章を書く自信がなくて不安と思った人、高校時代小論文が苦手だった人へ。その心配は不要。書き方のパターンを示します。そのパターンにしたがって書くと、不思議なことに600字程度の文章ができあがってしまうのです。その場で考えることを目的としているので、文章のタイトルは事前には発表しません。